
人の夢

gin

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人の夢

【Nコード】

N5746P

【作者名】

ginn

【あらすじ】

夢とはなんなのかを考える話し

今から3000年ほど前のこと。私達は宇宙（そら）を歩き。地球（じめん）を見上げた。

そして、願った。あの、手の届かない物に触れたいと。掴みたいと。

「なあ、地球に行ってみたくないか？」
僕は訪ねる。

「ん？いきなりどうしたんだ？」
友人が答える。いつも通りの会話。

「だって、綺麗じゃないか。触れてみたいと、この手で触れてみたいと思わないか？」

「まあ、そうだな。」

「何か【夢】って良いな。」

いつも通りのただの会話のはずだった……
だが、彼らは本当に夢を叶えてしまった。

彼らはロケットを作った。そして、宇宙（そら）から飛び立ち地球（めんど）についた。手の届かない物に触れてしまったのだ。そして、掴もうとする。

「なあ、ここに地球に住みたいと思わないか？」
僕はまた、訪ねる

「また、夢か。俺はいいと思うよ。」

友人もまた、答えた。

やはり、彼らは夢を掴んだ。【重力】という装置を作り、地球（じめん）に立つことができた。手の届かない物を夢を掴んだのだ。
あれから、3000年後の現在、私達は宇宙を求めている。それは、きつと手が届かないからなのだろう。手が届いて触れてしまえば、また地球を求めるだろう。彼らのように……

人は夢を追いかける。それは、掴んでしまえば案外大した物では

ないかもしれない。

だから、人に夢と書いて儚いのだろう。

でも、儚いからこそ人は追いかける。儚げで美しい夢を。

（後書き）

何か人に夢と書いて儚いって言うてみたかったw

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5746p/>

人の夢

2010年12月19日01時52分発行